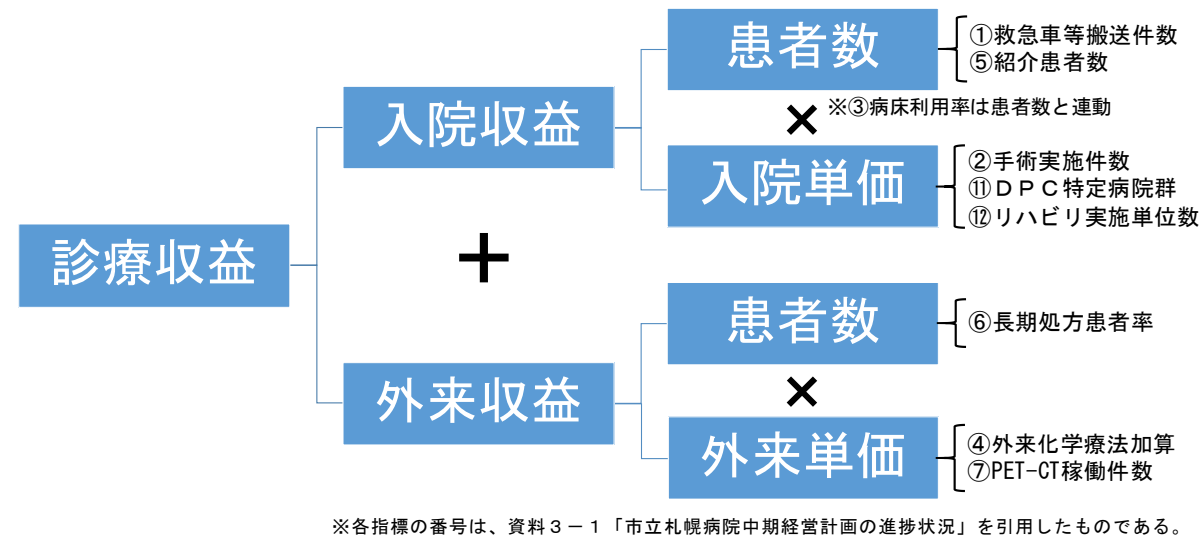
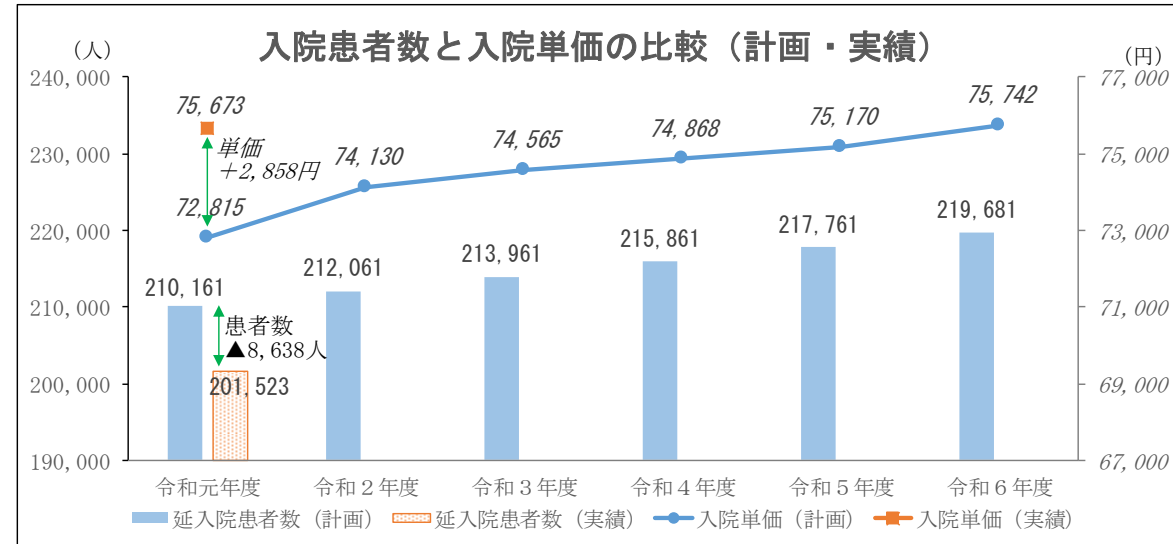


1 診療収益の構造と中期経営計画の指標との関連性



2 入院収益

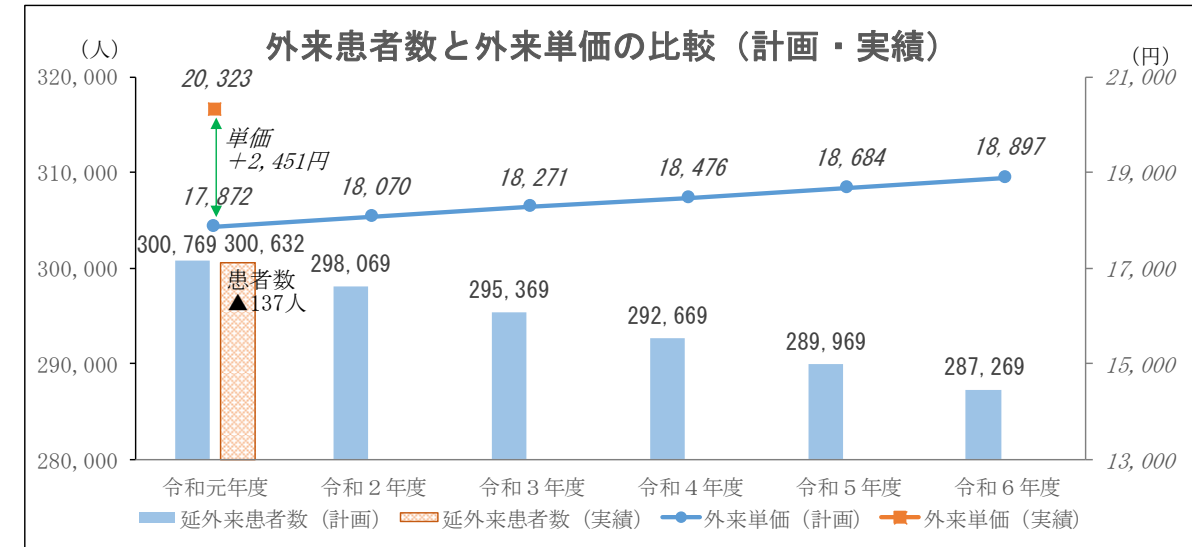


指標等	令和元年度			平成30年度 (実績)	前年度比
	目標	実績	目標比		
入院収益 【百万円】	15,303	15,250	▲ 53	14,636	614
延入院患者数 【人】	210,161	201,523	▲ 8,638	198,412	3,111
①救急車等搬送件数 【件】	3,600	3,536	▲ 64	3,592	▲ 56
⑤紹介患者数 【人】	13,000	13,314	314	12,673	641
入院単価 【円】	72,815	75,673	2,858	73,767	1,906
⑪DPC特定病院群	維持	維持		維持	
②手術実施件数 【件】	7,020	6,970	▲ 50	6,905	65
⑫リハビリ実施単位数	110,000	109,908	▲ 92	117,081	▲ 7,173
病床利用率(※1) 【%】	85.4	81.9	▲ 3.5	77.3	4.6
新入院患者数 【人】	-	17,548	-	16,958	590
平均在院日数(※2) 【日】	-	10.5	-	10.7	▲ 0.2

※1 病床利用率：延入院患者数×100／病床数(672床)×年度日数(令和元年度は366日)

※2 平均在院日数の短縮により、延入院患者数は減、入院単価は増となる傾向にある。

3 外来収益



指標等	令和元年度			平成30年度 (実績)	前年度比
	目標	実績	目標比		
外来収益 【百万円】	5,375	6,110	735	5,525	585
延外来患者数 【人】	300,769	300,632	▲ 137	307,581	▲ 6,949
⑥長期処方患者率 【%】	36.8	38.4	1.6	39.3	▲ 0.9
外来単価 【円】	17,872	20,323	2,451	17,964	2,359
④外来化学療法加算 【件】	3,900	4,495	595	3,641	854
⑦PET-CT稼働件数 【件】	1,035	985	▲ 50	1,002	▲ 17

4 収支の状況・財務指標

○経常収支の比較

区分	令和元年度			平成30年度 (実績)	前年度比
	計画	実績	計画比		
経常収益 【百万円】	23,732	24,280	548	23,308	972
経常費用 【百万円】	23,902	24,195	293	23,396	799
給与費 【百万円】	11,554	11,429	▲ 125	11,309	120
材料費 【百万円】	6,253	7,007	754	6,213	794
その他 【百万円】	6,095	5,759	▲ 336	5,874	▲ 115
経常収支 【百万円】	▲ 170	① 85	255	▲ 88	173

○各種財務指標の比較

指標	令和元年度			平成30年度 (実績)	前年度比
	計画	実績	計画比		
経常収支比率 【%】	99.3	100.3	1.0	99.6	0.7
職員給与費対医業収益比率 【%】	54.2	52.2	② ▲ 2.0	54.3	▲ 2.1
材料費対医業収益比率 【%】	29.3	32.0	③ 2.7	29.8	2.2
委託費対医業収益比率 【%】	11.8	11.4	② ▲ 0.4	11.2	0.2

①令和元年度は、6年ぶりに経常収支の黒字化を達成(計画を1年前倒し)

②医業収益の増により、医業収益に対する職員給与費率と委託比率は計画値より好転

③一方、材料費の増により、医業収益に対する材料費率は計画値より悪化

引き続き入院単価の維持・向上を図りながら、入院患者数の増(病床利用率の向上)に一層力を入れることで、入院収益の増加を目指し、収支の改善を進めていく。